

# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第21号

令和3年(2021年) 2月9日(火)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

## 多様性について考える

校長 秋本 泰宏



総合文化部2月の作品

124年ぶりの一日早い立春も過ぎ、雪に埋まっていた花壇のチューリップが芽を出し、キンセンカが花をつけはじめました。春の足音が、すぐ近くまで近づいてきました。

さて、2月の月頭集会では、多様性について考える話をしました。

まず、次のような問題を出してみました。

数字の問題を出します。

「3, 2, 1に続く数は何でしょう？」

生徒は、近くの生徒と相談し、「0, -1, -2」と答えてくれました。数学の正の数、負の数で学習した内容です。私は、意地悪く「他の答えはありませんか？」と、たずねました。繰り返しの法則性があると考え、「3, 2, 1」と答えてくれた生徒がいました。なるほどと感心しながら、「他の答えはありませんか？」と、また、たずねました。

少し考えて、時計に気づき「12, 11, 10」と答えてくれた生徒がいました。生徒の鋭い発見に、またまた感心しました。

さらに私は、「『西暦2年の3年前は何年か?』という社会科の問題で考えるとどうなりますか?」と問いました。年号は、西暦2年、西暦元年、その前は紀元前1年、紀元前2年と続きます。つまり「0」がない数の並び「-1, -2, -3」となります。これは、エレベーターの階数も、「3階、2階、1階、地下1階、地下2階、地下3階」なので、「0」がない西暦と同じ仕組みですねと補足しました。そして、同じエレベーターでもイギリスなどの国では「3階、2階、1階、グランドフロア、地下1階、地下2階、地下3階」となり、グランドフロアが基準の「0」となるため、注意が必要だと付け加えました。

つまり「3, 2, 1に続く数は何でしょう?」という問題は、「0, -1, -2」も「12, 11, 10」も「-1, -2, -3」も根拠があり、すべて正解となります。

このように、正解が一つだけでなく複数あることは、現実社会の中で多くあります。現実社会の中で正解が複数あることを多様性といいます。このような多様性について学ぶ必要性を生徒に説明しました。

世界の距離は、様々な通信機器や乗り物により、物理的にずいぶん縮まりました。しかし、それぞれの国や民族には異なる歴史、文化、宗教、風習があります。この多様性を、お互いの価値観を認め、尊重し合わなければ心の距離は縮まらない、つまり平和は生まれません。現実には、国際紛争、内戦、迫害、難民、差別など平和とはほど遠いニュースが毎日配信されています。

これから世界に羽ばたき、未来をつくる生徒に多様性を学び、お互いを認め、尊重し合うということを大切にしたいと願って、私の話を閉じました。

## 百人一首大会を開きました

前号の学校だよりでお知らせしたとおり、2月4日（木）に全校で百人一首大会を実施しました。

今年は、新型コロナウイルスの感染予防のため、体育館を会場にし、少人数グループで密を避けて実施しました。

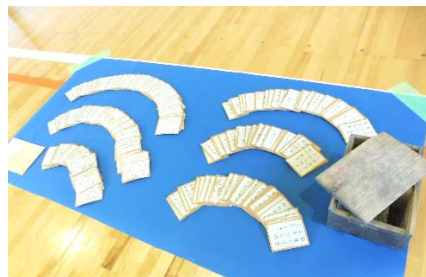
前号を読んでいただいた地域の方から、自分の母が子どもの時に使っていたというおよそ100年前の百人一首カルタを持ってきていただきました。このカルタを百人一首大会の休憩時間に紹介すると「読み札に絵がない!」「今と違う文字が使われている!」「木の箱に入れられて大切に使われている!」など生徒も興味をもって見ていました。ありがとうございました。

大会には教職員も参加し、楽しいひとときを過ごすことができました。

## 夢の実現に向けて2



百人一首大会の様子



地域の方の貴重なカルタ



1年生職業調べ発表会の様子



2年生立志の会の様子

2月5日（金）6校時に1，2年生の参観授業を実施しました。

1年生は自分のつきたい職業を調べ、新聞を作成し、他の者に知らせる授業でした。

生徒それぞれがその職業に就きたいと思った動機や実現に向けて努力しなければならないことなどを一生懸命発表しました。K. Yくんは、昔、お父さんに消防車に乗せてもらったことの感動と、高齢者が多い錦町の役に立てるのでと考えて消防士を取り上げて発表しました。

2年生は、進路決定を迫られる3年生になる前に、自分の将来に向き合い「夢」の実現のためにどのように生きていくかを考えるために「立志の会」を実施しました。

決意表明をする中で、J. Aくんは、お母さんとの日常生活の経験から整体師をめざしたいと作文を読み上げました。

立志の会には、千守会副会長さんに来校していただき、将来の生き方を考える本を贈呈していただきました。副会長さんからは、「昨年来日したデンマークの大学生は高校を卒業してから

自分探しの旅に出ると聞いたが、錦中の皆さんは、すでに中学生の段階で明確な自分を見つけているので感動しました」とお言葉をいただきました。

1，2年生両方を参観してみて、1年生のK. Yくんや、2年生のJ. Aくんのように自分の将来の目標の動機付けとして、家族や地域の関わりが大きく影響していることを大変すばらしいことだなと感じた参観授業でした。

### お知らせ

2月16日（火）に計画していました「ちびっ子寄席」ですが、出演者が緊急事態宣言地域からの来校となるため残念ながら中止とさせていただきます。

